

第2回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会要旨

- 1 日 時 令和2年11月11日（水） 10時00分から11時00分
- 2 場 所 当別町役場 1階 大会議室
- 3 出席委員 別添名簿のとおり
- 4 町出席者 事務局：熊谷部長、三上参与、石原主幹、寺田主任、平田主任
- 5 傍聴者 なし
- 6 審議会要旨

(1) 委員長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。7月に行われた第1回の推進委員会では KPI の状況等を事務局からご報告いただき、それに対するご意見をいただいたところであります。今回の推進委員会では、各委員の皆様からいただいたご意見をとりまとめたものをご確認いただき、町へ提出する第1期総合戦略への「意見書」として決定していただきたいと考えております。また、第1期総合戦略の評価報告書をまとめているので、これに対してもご意見をいただくこととなります。よろしくお願いたします。

(2) 議題

- ① 当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1期）評価報告書（案）について

資料1に基づき、三上参与より説明。

- ② 当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1期）に対する意見書（案）について

資料2に基づき、三上参与より説明。

（高橋委員）

「基本目標（4）未来を担う子どもの育成と町民が幸せに暮らせる社会の形成について」になりますが、「特に若い世代に対して当別町の強みを打ち出しアプローチしていく必要がある」とあります。この部分について、もう少し具体的にどのようなことをしていくのか記載した方がよいかと思えます。

（事務局）

一体型義務教育校が開校し、「とうべつ未来学」という独自の教育を進めることや英語教育に注力していくということは、子育て世帯へアピールすることができる当別の強みになるかと思えます。そういった部分を記載したいと思えます。

（宮崎委員）

「基本目標（1）産業力の強化」になりますが、「リピートが期待できる町民に喜ばれる特色のある店舗の増加を期待する」とあります。これはどのような店舗をイメージしているのでしょうか。また、「基本目標（3）まちに人を呼び込む「定住・交流」の促進」になりますが、コミュニティバスにおけるコロナ対策を教えていただければと思えます。

(事務局)

コミュニティバスについては、換気や消毒といった通常行われるコロナ対策はもちろんのこと、アプリでバス車内の混雑状況を確認できるシステムを実装する予定となっております。リピートが期待できる店舗については、具体的にどのような店舗といったものはございませんが、商工会や観光分野の方々とは検討し、誘致やPRが必要になると考えています。一般的に、料金や提供される量、また、味が突出している店舗がリピート率が高いと考えられます。町内にも町外の方から人気がある店舗はありますので、さらに品質や認知度を高めブランド化していくことや、低価格に設定することで、町内の方々のリピート率を高めていくということも考えられます。コロナ禍におけるテイクアウトといった今までにない取り組みや広告戦略など、町内には可能性を秘めている店舗はまだありますので、町と商工会で連携して、取り組みを推進していく必要があると考えております。

(鴨崎委員)

令和元年度における転出者の年齢構成は把握しておりますか。

(事務局)

年齢構成までは把握しておりません。後日になりますが、調査し、公開できる範囲で皆様にお伝えいたします。

(鴨崎委員)

若い方が進学や就職で転出していることが多いのか。また、高齢者の方が施設に入るために転出しているのか。そういった分析をすることで、人口増加に向けた取り組みが具体化されてくると思います。

(事務局)

人口は減少しておりますが世帯数は大きく増減していないため、若い方が転出し、核家族が進んでいるということは推察することができます。

(小田島委員)

以前と比較して、農業や商工業における若い労働力が減少していると思います。転出した方の職業を把握することができれば、より必要とされる具体的な取り組みが見えてくるのではないかと思います。

(黒澤委員長)

総合戦略に関して、新駅が建設されることや発電所が建設されることなどすでに取り組みが進んでいることもあるかと思います。将来に向けて期待できることも記載することで、明るい意見書になるかと思います。

(事務局)

承知しました。

(高橋委員)

人口・消費・労働力の増加が図られるということで、外国人労働者の受け入れについても記載していただければと思います。なかなか企業だけでは難しい課題であり、行政が音頭をとっていただければ、農業や商工業としてはありがたいと考えております。

(黒澤委員長)

将来的に考えれば、当別町にとって1つの大事な要素になるかと思えます。今後どうしていくのか考える必要があるといったような感じで記載すればよいかと思えます。本日いただいたご意見も含めまして「意見書」をまとめさせていただきます。さらにご意見等ございましたら、メール等で事務局にご連絡いただければと思います。

(事務局)

11月18日(水)を目途にご意見をいただければと思います。本日いただいたご意見とこれからいただくご意見を加味し、黒澤委員長と意見書を調製させていただき、決定したいと思います。よろしくお願いいたします。

(3) その他

① 当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)について

資料3に基づき、三上参与より説明。

(事務局)

今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、数値の悪化やプロジェクトの進捗に遅れがでてきております。新型コロナウイルス感染症の長期化が考えられますが、ウィズコロナという視点に立ち、いかにして掲げた目標を達成していくかそれぞれの担当課と協議し、プロジェクトを推進していきたいと考えております。

(宮崎委員)

総務省の統計で、首都圏から北海道へ転出した方が増えているというデータがあります。当別町の感触はいかがでしょう。

(事務局)

詳細な調査はしていませんが、新築の家が建設され、人の動きがあるなど感じておりました。また、北海道で新型コロナウイルス感染症が再流行する前は、ワーケーションやサテライトオフィスといった新しい形での人を呼び込む策を検討していたところで、引き続き新しい人の動きに注視し、人口増加に向けた策を検討していきます。

(黒澤委員長)

学生の動きを見ていても、オンライン授業となったことから、地元へ帰っている学生が増えている傾向にあります。なかなか思い切った策を講じることが難しい状況ですが、うまく新型コロナウイルス感染症と付き合いながら、プロジェクトを推進していくことになるかと思えます。

(4) 閉会

(事務局)

先ほど申し上げましたが、11月18日(水)を目安に、ご意見等いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。その後、黒澤委員長と協議の上、推進委員会からの「意見書」として、町へ提出いたします。また、来年度についても第2期の成果等をご報告させていただき、ご意見をいただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

(黒澤委員長)

それでは、第2回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。